

「(仮称) 生物多様性ちば県戦略」専門委員会提言（案）

はじめに

要旨

第1章 戰略策定の趣旨

第2章 生物多様性と保全目標（50年後の生物多様性豊かなちばの未来像）

第3章 千葉県の自然・文化と生物多様性

1. 千葉県の自然環境の特徴 南北の多様な動植物が出会う豊かな里山海
 - (1) 房総半島の地形・地質とその成り立ち
 - (2) 房総沖の黒潮・親潮と東京湾の生物
 - (3) 常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の植物相
 - (4) 人とのかかわり深い動物相
- 2 生態系のまとまりからみた県土区分
3. 千葉県における自然と人のかかわりの歴史と環境変化
 - (1) 狩猟・採集の時代
 - (2) 里山・里海の時代
 - (3) 大規模開発・生産の時代
 - (4) 保全・再生の時代
- 4 生物多様性と文化
 - (1) 生物多様性と生活とのかかわり（地域の生物相を反映するもの）
 - (2) 地域文化からの生物多様性への働きかけ

第#章 人々の生活・生存の危機

1. 自然資源・環境への危機
 - (1) 食料・エネルギー等をになう生物資源の消失
 - (2) 農林水産物への被害と経済的損失
 - (3) 大気・水・土壤の汚染と地形・気候の不安定化
2. 人の健康・文化への危機
 - (1) 人の健康被害
 - (2) ふる里の文化・景観の変貌と誇りの衰退
 - (3) 生命観・自然観の希薄化

第4章 千葉県における生物多様性の現状と課題

- 1 生物多様性の変貌
 - (1) 個体群の衰退及び種の絶滅
 - (2) 生態系の分断・劣化
 - (3) 外来種(移入種)の侵入・増加
 - (4) 遺伝子及び品種の消失
- 2 自然環境の変化
 - (1) 人為の増大(開発による自然の破壊と汚染)
 - (2) 人為の減少(里山・里海の放棄と過疎化)
 - (3) 地球温暖化(異常気象と海面上昇)

第5章 生物多様性の保全・復元に向けた原則

第6章 生物多様性の保全・復元に向けた現場対策

- 1 原生的な自然環境の保護・復元
- 2 伝統的な里山・里海環境の保全・再生
- 3 人工的な都市環境の生物多様性回復
- 4 野生生物の保護管理
 - (1) 種の絶滅回避と希少な種・品種の保護・増殖
 - (2) 野生鳥獣の保護管理
 - (3) 外来種(移入種)の防除
- 5 農薬等化学物質・有害物質の排出抑制と分散防止
- 6 遺伝子組み換え生物による生態系かく乱の防止
- 7 生物多様性がもたらす生態系の恵みの享受
- 8 資源の有効利用と自律・循環型社会の構築

第7章 実施体制の整備

- 1 県民、企業と行政及び研究機関・大学・博物館等の連携・協力システムづくり
 - (1) 市町村における(仮称)生物多様性保全行動計画策定の推進
 - (2) 市民、NPOや子供たちの参加・協働の推進
 - (3) 大学、博物館、研究・教育機関等との連携・協力の推進
 - (4) 企業との連携・協力の推進
 - (5) 国際的な連携・協力の推進
- 2 生物多様性情報の統合管理と調査研究の拠点づくり
 - (1) 「(仮称)生物多様性情報・研究センター」の設置
 - (2) 情報の収集・整理・活用

- (3) モニタリングの実施
 - (4) 調査研究・技術開発の推進
- 3 現場を担う組織及び人づくり
 - 4 取り組みの手法や成果の評価・検証システムづくり
 - 5 生命・自然体験と環境教育・学習の推進
 - 6 庁内体制の整備

第8章 具体的プロジェクト

1. 重要種・品種・遺伝子の保護・増殖プロジェクト
2. 重要群落・群集の保全・再生プロジェクト
3. 外来種（移入種）駆除および鳥獣被害防止のプロジェクト
4. 三番瀬・東京湾の生物多様性保全・再生プロジェクト
5. 印旛沼・手賀沼の生物多様性保全・再生プロジェクト
6. 水源域・河川の生物多様性保全・再生プロジェクト
7. 里山・谷津田の生物多様性保全・再生プロジェクト
8. 里海・海辺の生物多様性保全・再生プロジェクト
9. 都市・開発地の生物多様性保全・再生プロジェクト
10. 学校・公園のビオトープ推進プロジェクト
 - 11. 山・川・海のフィールド・ミュージアムプロジェクト
 - 12. 生命・自然体験による子供の発育・健康増進プロジェクト
 - 13. 有害・有毒物質の実態把握と生物被害防止プロジェクト
 - 14. 地域の生物多様性調査支援プロジェクト
 - 15. 遺伝子組み換えの生物多様性への影響評価プロジェクト

資料編

- 1 データ集
- 2 タウンミーティング報告
- 3 県・市町村・NPO・企業の取り組み
- 4 用語解説
- 5 引用文献